

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【公開番号】特開 2000-118044 (P2000-118044A)  
 【公開日】平成 12 年 4 月 25 日 (2000.4.25)  
 【出願番号】特願 平 10-291054  
 【国際特許分類第 7 版】  
     B 4 1 J      2/52  
     B 4 1 J      2/44  
 【F I】  
     B 4 1 J      3/00              A  
     B 4 1 J      3/00              D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 15 年 11 月 13 日 (2003.11.13)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

画像データを入力する画像入力手段と、前記画像入力手段で入力した画像データに対し乱数データを加算して出力する乱数加算手段と、前記乱数加算手段で乱数データが加算された画像データを画像形成する画像形成手段とを備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記乱数加算手段で画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを制御する乱数加算制御手段を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記乱数加算制御手段は、ユーザより受付けた指示に従って前記乱数加算手段での画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを制御することを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記乱数加算制御手段は、通信媒体を介して接続された他の外部装置からの指示に従って、前記乱数加算手段で画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを制御することを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記乱数加算制御手段は、入力された画像データがグラデーション状の CG 画像である場合に、前記乱数加算手段で画像データに対する乱数データの加算を行なうように制御することを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 6】

画像データを入力する画像入力工程と、前記画像入力工程で入力した画像データに対し乱数データを加算して出力する乱数加算工程と、前記乱数加算工程で乱数データが加算された画像データを画像形成する画像形成工程とを含むことを特徴とする画像形成方法。

【請求項 7】

前記乱数加算工程で画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを判定する乱数加算判定工程を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成方法。

【請求項 8】

前記乱数加算判定工程は、ユーザより受付けた指示に従って、前記乱数加算工程での画像

データに対する乱数データの加算を行なうか否かを判定することを特徴とする請求項 7 記載の画像形成方法。

【請求項 9】

前記乱数加算判定工程は、通信媒体を介して接続された他の外部装置よりの指示に従って前記乱数加算工程での画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを判定することを特徴とする請求項 7 記載の画像形成方法。

【請求項 10】

前記乱数加算判定工程は、入力された画像データがグラデーション状の CG 画像である場合に前記乱数加算工程で画像データに対する乱数データの加算を行なうよう判定することを特徴とする請求項 7 乃至 9 のいずれかに記載の画像形成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

即ち、本発明に係る画像形成装置は、画像データを入力する画像入力手段と、前記画像入力手段で入力した画像データに対し乱数データを加算して出力する乱数加算手段と、前記乱数加算手段で乱数データが加算された画像データを画像形成する画像形成手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記乱数加算手段で画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを制御する乱数加算制御手段を備えることを特徴とする。ここで、乱数加算制御手段は、ユーザより受付けた指示に従って、画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを制御することを特徴とする。あるいは、乱数加算制御手段は、通信媒体を介して接続された他の外部装置からの指示に従って、画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを制御することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、画像形成する画像データがグラデーション状の CG 画像である場合に、画像データに対する乱数データの加算を行なうことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明に係る画像形成方法は、画像データを入力する画像入力工程と、前記画像入力工程で入力した画像データに対し乱数データを加算して出力する乱数加算工程と、前記乱数加算工程で乱数データが加算された画像データを画像形成する画像形成工程とを含むことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを判定する乱数加算判定工程を備え、乱数加算判定工程は、ユーザより受付けた指示に従って、或いは、通信媒体を介して接続された他の外部装置からの指示に従って、画像データに対する乱数データの加算を行なうか否かを判定する。さらに、画像形成する画像データがグラデーション状のCG画像である場合には、画像データに対する乱数データの加算を行なう。